



編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

高橋 ちづ子
智子 友
い わぶち 友
国会議員連絡所
鶴岡市美原町16-5
☎ 22-3313
FAX 24-4096

無料生活相談所

関 徹
長者町11-26
24-2414

加藤 鋳一
宝徳 仲田56
64-3941

菅井 巖
中 楯 9 6
33-0534

坂本 昌栄
稲生2-33-47
24-5993

山田 守
宝田1-9-1-31
23-6548

長谷川 剛
日枝坂本43-10
41-9148

市内各所で道路冠水・家屋浸水

7月28日大雨 日本共産党市議団が現地を確認

前線の影響により激しい雨が降り続いた28日、市内各所で道路冠水、家屋浸水などの被害が発生しました。

市は、13時45分、警戒体制から災害対策本部を設置しました。

避難情報の発令

た。

小中学校は、一斉下校や保護者の迎えによる下校の措置を取りました。

黒瀬川の増水により13時45分、羽黒地域の中島、黒瀬1組、2組に避難指示が出されました。

切添町と鳥居町南町内会では道路が冠水、19時10分に避難勧告が発令されました。

11人、渡前地区地域活動センターに6世帯18人、栄コミュニティセンターに46人、第二学区コミセンに3世帯5人が避難、他に三和や藤島関根など町内会公民館等に自主避難しました。

日本共産党市議団にも住民から情報が寄せられ、市内各地を回り、市災害対策本部に情報提供と対策を求めました。

京田川、藤島川の増水により15時50分、藤島地区、東栄地区、渡前地区の柳久瀬に避難勧告が発令されました。

各地で消防署員や団員らがポンプによる排水、土嚢の設置を行いました。

本町三丁目には20年以上暮らす方は「中学生の頃から住んでいるが堰が溢れ、自宅間際まで水が上がったのは初めてだ」と話してくれました。

同町では区分濡れになりながら、車を退避させた業者の社長もいました。



道路冠水した宝田一丁目地内



道路冠水した切添町地内



宝田付近の県道332号線も冠水



庄内農業高校西側の藤島川は越水寸前



道路冠水した美原町・本町三丁目付近



内川の柳橋(本町二・三丁目)は橋桁まで増水

避難の状況

28日19時30分現在、広瀬地区地域活動センターに26世帯27人、藤島地区地域活動センターに7世帯

本町三丁目には20年以上暮らす方は「中学生の頃から住んでいるが堰が溢れ、自宅間際まで水が上がったのは初めてだ」と話してくれました。

同町では区分濡れになりながら、車を退避させた業者の社長もいました。

新型コロナウイルス追加対策 補正予算全議員賛成

鶴岡市議会臨時会

鶴岡市議会臨時会が7月22日開かれ、新型コロナウイルス関連の追加対策で21事業、計22億1154万円の補正予算が全議員賛成で可決されました。

質疑で、坂本昌栄議員が「児童福祉施設等の職員慰労金は4月からだが、学校休業に伴い本市が学童保育の開所を望んだのは3月からである。

緊急対応で1ヶ月間だけ勤務をお願いした職員もおり、市独自で対応はどうか」と質問。健康福祉部長は、「3月当初から開所し、平時であれば午後から開

所するところを朝から開所した事情もあり、他の施設との関係性を考慮し検討している」と答えました。

加藤鉦一議員は、「地方創生臨時交付金について、政府は利子補給や信用保証料補助などに目的を限定して基金積み立てにも可能としているが」と質問。

総務部長は、「金融対策の利子など後年度負担として今後10年間で約8・5億円が見込まれ、9月補正に5年間分、約6億円を基金積立金として検討したい」と答えました。

創立60年に向け飛躍を

新日本婦人の会鶴岡支部大会

第34回新日本婦人の会鶴岡支部大会が26日、勤労者会館大ホールで開かれました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、受付での検温、消毒を行い、3密を避け代議員を減らしての開催で、坂本昌栄市議が出席しました。

活動報告では、皆川高橋支部長(中央)に花束贈呈



皆川高橋支部長(中央)に花束贈呈

今年度の活動方針では、2022年の秋に創立60年を迎えることから、新婦人の会の飛躍を

市長に自衛隊への個人情報提供反対の声を届け、庄内支庁へコンビニ二からの成人誌撤去を訴え、鶴岡市議会へ「公立小中学校へのエアコンの設置を求める」請願を出したことが報告されました。

念頭に活動することを決めました。特別決議では「安倍9条改憲、中東派遣、新基地建設ノー！安倍政権を退陣に追い込み、野党連合政権への展望をひらきましよう！」

「消費税5%への減税、廃止、コロナ禍から、いのちとくらしを守りましよう」の2決議が全員一致で採択されました。

長年支部長を務められた高橋史さんに花束が贈呈され、感謝の拍手で労いました。会場では「鶴岡市平和都市宣言記念の集い」の案内が全員に配布されました(写真)。

鶴岡市平和都市宣言記念式典の集い

今年は戦後75年の節目、平和都市を宣言した私たちは平和の尊さを再認識し、二度と戦争を起こさない誓いを新たにしたいと考えます。

日時:令和2年(2020年)8月10日(月曜日、祝日)午後1時受付 1時半開場
会場:鶴岡市中央公民館 大ホール (参加費:無料)
主催:鶴岡市 (どなたも参加できます)

【プログラム】

1. 開会のあいさつ
2. 鶴岡市長のあいさつ
3. 「鶴岡市平和都市宣言」唱和

鶴岡市平和都市宣言

世界の恒久平和実現は、人類共通の願いです。しかし、今なお武力紛争などにより尊い生命が奪われ、世界に大きな脅威がもたらされています。世界唯一の被爆国である日本に住む私たちは、核兵器をはじめとする大量破壊兵器の速やかな廃絶を訴えます。私たち鶴岡市民は戦争のない永遠の平和と文化の構築を強く決意し、ここに平和都市宣言をします。

二〇二一年(平成三十二年)三月六日
鶴岡市議会議決

4. 音楽で平和を・・・♪ハーブと二胡による演奏♪
ハーブ: 林裕子さん、二胡: 佐藤幸さん
曲: さとうきび畑、涙そうそう、童神(わらびがみ)
5. 藤島中学校令和元年度卒業生有志による平和の詩の朗読
6. 音楽で平和を・・・♪鶴岡北高等学校の合唱部による合唱♪曲: 「花は咲く」、他
7. 詩の朗読 (1) 茨木のり子六月の会
茨木のり子の詩・・・「根府川の海」、「わたしが一番きれいだったとき」
8. 戦争体験者の話・・・広島での被爆体験者・三浦恒嗣(つねき)氏
9. 詩の朗読 (2) 朗読集団長月の会
石垣りんの詩・・・「挨拶」、「弔詞」
10. 閉会のあいさつ

問い合わせ先:
鶴岡市総務部総務課
0235-25-2111 内線 300
担当: 石川、前田